

Box 1:11

certificates

in Japanese

[ca. 1920-1950]

2002/353

領收證

No. 4319

一金貳拾弗也

右ハ母國災害救濟ノ爲メ
寄附相成正ニ領収候也

大正拾貳年九月十一日

在桑港帝國總領事

大山卯次郎



池田貢造 殿

101.

證 狀

一金貳拾五両也

今般本會常用自動車購求
ニ就テ右之金員御寄附下
サレ御芳志ノ段奉深謝候
茲ニ領收書トシテ證狀如
件

大正拾壹年九月十八日

王府佛教會



池田貞道 殿

謹賀新年

正月元旦

池田貫道

殿

右は佛教會堂の建築に篤志を寄せられ候條本山參詣の際御差支のなき限り飛雲閣并に殿内の觀覽を御許し下され度候也

明治

年

月

日

米國オークランド駐在布教員

藤

井

默

乘

本山執行所御中



34

領收證

Nº

一金武拾五弗仙也

自大正拾貳年月
至大正拾年月

右ハ兒女協會設立ニ關シ在留同胞
第二世ノ教育資金トシテ御寄附相
成リ正ニ領收仕候也

猶本協會贊助員トシテ御援助被成
下度此段申添候也

千九百廿六年八月十九日

王府兒女協會

領收者

池田景造

殿

56

領收證

Nº

一金

拾

弗

仙也

自大正拾貳年月
至大正拾年月

右ハ兒女協會設立ニ關シ在留同胞
第二世ノ教育資金トシテ御寄附相
成リ正ニ領收仕候也

猶本協會贊助員トシテ御援助被成
下度此段申添候也

千九百廿四年三月八日

王府兒女協會

領收者

殿

池田貧道殿

本會學務委員ニ推薦致シ候

間二諦ノ教旨ヲ体シ佛陀救

世ノ鴻業ヲ翼賛有之度候也

大正六年五月八日

王府佛

佛教會



新潟縣
池田貫道殿

本會幹事ニ推薦致シ候

間二諦ノ教旨ヲ体シ佛陀救

世ノ鴻業ヲ翼賛有之度候也

大正五年四月六三日

王府佛教會



謝狀

池田貫道殿

一金五弗也

今般米國教化事業並に宗教事情視察研究の爲め又日本全佛教徒各宗聯合會正式感謝使節として御渡米遊ばされたる東本願寺法主大谷光暢臺下並に智子裏方御巡錫御親教賜はり候節は淨財御喜捨相成り御蔭を以て全米各地共盛大を極めたる歡送迎裡に御巡教と感謝の旅を全ふせられ候事偏に佛祖の冥祐と兩臺下の御徳と貴下の御懇念に基くものとして爰に厚く謝意を表し候也

一千九百四十九年十一月五日

大谷兩臺下御巡錫隨行長

北米東本願寺別院 輪番

泉原寅海



池田貫道殿

本會評議員ニ推薦致シ候

間二諦ノ教旨ヲ体シ佛陀救

世ノ鴻業ヲ翼賛有之度候也

大正九年三月拾貳日

王府佛



第四六號

感 謝 狀

一金貳拾五弗也

右本會々堂購入ニ付御寄附
被降難有感謝致候也

明治三十九年十一月二十一日

オークランド市

佛

教

府王會



池田貧道 殿

一金貳拾五萬

右本園へ

御寄附成下サレ

御芳志難有受納

仕候也

大正九年四月廿一日

王府學園



池田貞道殿

三

No.

領收證

一金之存
弗——仙也

右金額御寄附相成候處
本會ハ貴殿ノ御芳志ヲ
永々記念可仕候也

千九百廿三年十一月十五日

王府日本人會

領收者

才村典信



池田母道殿

金或拾五弔也

右本園自勵車新調
御寄附成下サレ
御芳志難有受納
仕候也

大英年十一月廿一日

王府



池田貞道殿

領收證

一金貳弗五拾仙也

右ハ大正十五年五月三
十一日當町全燒ニ際シ
救濟ノ爲メ甚深ナル御
同情ニヨリ御寄附被成
下難有正ニ領收候也

大正十五年七月

アイルトン日本人會

救濟部



池田貢造殿

感 謝 狀

貴下ハ夙ニ正法護持ノ念篤ク
特ニ會堂新築ニ當テハ愈ニ報
謝ノ懇念ヲ運ビ遂ニソノ建立ヲ
見ルニ至レリ

西來佛陀ノ正法宣布ノ道場
ドシテ今日ノ隆榮ヲ招来セル
是固ヨリ大悲照護ノ冥益ニ因
ル雖モ一タ貴下ノ功績尠ナ
カラズ仍テ本日會堂新築二
十周年慶讚法要ヲ嚴修ス
ル際シ深甚ナル感謝ノ意ヲ
表ス

元和四十七年十一月九日

王府佛教會



池田貫道殿

